

秋津野球場・秋津サッカー場等の再整備基本方針（案）概要版

（１）策定の目的

誰もがスポーツを楽しむことによって、心身ともに健全になり、健康の維持増進、体力向上を図り、豊かなスポーツライフを実現するための施設とする。

両施設をスポーツ振興のシンボルにすると共に、従来の用途以外にも利用用途を広げていくことで、将来にわたって市内外から多くの人々が訪れ、交流する施設とする。

（２）目指すべき秋津公園内スポーツ施設像

「オール習志野で実現する、スポーツが生み出す多世代の交流拠点」

（３）施設の現状と課題

■野球場=放送設備の故障、観客席の老朽化、温水シャワーの設置（現状、水しか出ない）、散水設備の不具合、防球ネットの老朽化、公認野球場の広さが確保できていない、更衣室の不足

■サッカー場=得点板・時計の老朽化、シャワー室の老朽化、雨漏りの発生、観客席の老朽化、一部設備がバリアフリーに未対応（多機能トイレの非設置等）、スプリンクラーの不具合、トイレの老朽化（洋式化及び授乳室設置の必要性）、足元誘導灯の破損、未利用の諸室の存在

■天然芝維持のため、費用が掛かり、利用制限が多い。

（４）整備内容

施設の老朽化対策、グラウンドの人工芝化、バックスタンド設置場所確保等

（５）事業スケジュール（案）

年度	事業内容
事業化の前年度	・ P F I 導入可能性調査（リスク分担の検討、V F Mの検討）
事業化１年次	・ 設計
事業化２年次以降	・ 施設改修工事、人工芝化工事 ・ 供用開始（工事完了次第）

（６）想定される事業スキーム

従来手法（公共整備＋指定管理者制度）、P F I 手法（P F I ＋指定管理者制度）

（７）再整備の効果

市民利用の拡大、施設の安全性の確保、利便性の向上、財政負担の軽減、地域消費の拡大 他